

平成26年度 京都市高次脳機能障害者支援者研修実施要領

1 目的

本研修は、高次脳機能障害のある方への対応や支援方法について、医療・福祉等の事業に携わる方の理解を深めることで、各機関の地域での連携やスムーズな相談対応、福祉サービス事業所等の利用が促進されるように研修を実施する。

2 受講対象者

次のいずれかに該当している方

(1) リハビリテーションと関連する業務に従事している本市職員

(2) 市内の総合支援学校及び育成学級等に勤務している教職員

(3) 次に定める事業に従事する職員

ア 障害者総合支援法による障害福祉サービス等及び相談支援

イ 児童福祉法による障害児入所支援及び障害児通所支援

ウ 介護保険法による居宅サービス、地域密着型サービス、居宅介護支援、施設サービス、地域包括支援センター

(4) 障害者の支援等を行っている団体等に所属する方

(5) 市内の医療機関に勤務する職員

3 研修日程及び内容

別添の研修内容一覧のとおり

4 受講料

無料

5 申込方法等

別紙申込書に必要事項を記入し、京都市身体障害者リハビリテーションセンター相談課へFAX(842-1541)で申し込むものとする。

申込先・ 問合せ先	〒604-8854 京都市中京区壬生仙念町 30 番地 京都市身体障害者リハビリテーションセンター相談課 地域リハビリテーション推進担当(植松・太田)あて (TEL823-1666 ・ FAX 842-1541)
--------------	--

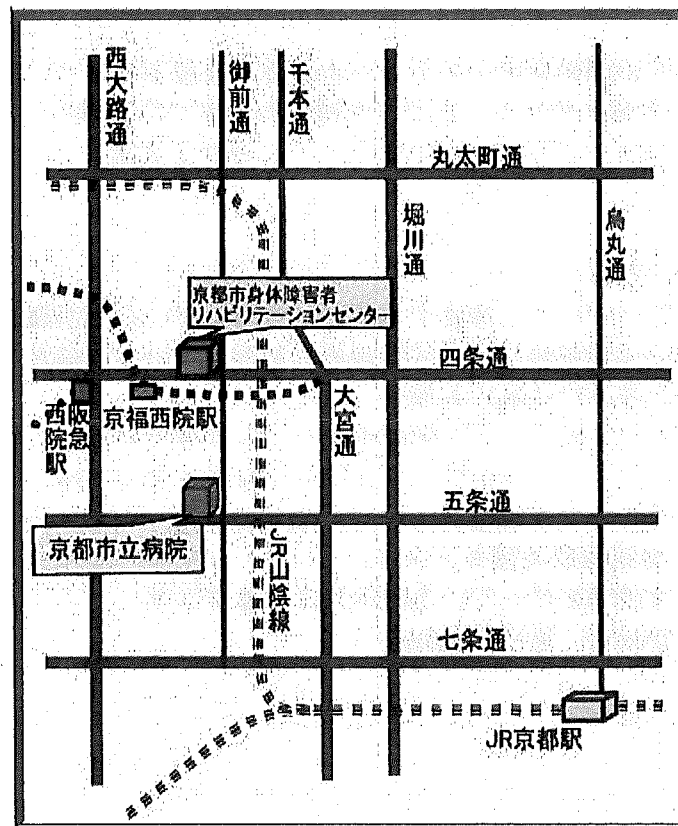
6 受講

申込み多数となった場合、定員を超過した時点で申込を締切ります。

受講不可の場合を除き受講承認等の通知は致しませんので、当方から事前に受講不可の連絡がない場合は、研修申込確認画面の写し等を御持参のうえ、会場までお越しください。

7 留意事項

- (1) やむを得ず欠席される場合は、必ず事前に御連絡ください。
- (2) 自家用車での御来場はできません。できるだけ、公共機関等を御利用ください。
なお、バイク、自転車の駐輪場は、センター北側にあります。



別添 研修内容一覧

平成26年度高次脳機能障害者支援者研修
講座内容



日程	時間	テーマ、研修内容	会場	申込締切日	定員
2/12 (木)	18:00 ～ 19:50	テーマ「よくわかる」高次脳機能障害 ～高次脳機能障害者への支援の輪を広げたい～ 講師：神戸大学大学院保健学研究科 教授 種村留美氏 (内容) 「高次脳機能障害のことは聞いたことがあるが、支援するのは自信がない。」 「高次脳機能障害のある利用者さんと最初は上手くいっていたけど、ちょっとしたことからわかり合えなくなって、最近、事業所を利用してもらえない。」 「こちらの意図を理解してもらえない。どうしたらわかってもらえるのだろうか。」など、高次脳機能障害のある方への対応や支援に当たっては、戸惑うことが多いのが実状です。 そこで、今回、当事者支援にも直接関わっておられる種村留美氏を講師としてお招きし、ご自身の研究を通じて得られた、支援に必要なことや対応で工夫できることなどをわかりやすくお話しいただきます。	ハートピア 京都 大会議室	2月10日 (火)	120名
3/8 (日)	9:40～ 16:50	テーマ「高次脳機能障害者への地域支援」 9:40～10:30 講義 「本市における高次脳機能障害者支援の現状について」 講師：京都市身体障害者リハビリテーションセンター相談課 植松 裕 (内容) 高次脳機能障害支援に関する制度上の位置付けや、国のモデル事業や周辺都市の実施状況などを含めて、本市の現状をお話します。 10:30～12:00 講演 「高次脳機能障害と向き合って」～家族、地域の支援者として～ 講師：なやクリニック院長 納谷敦夫氏 (内容) なやクリニックでの精神科デイケアのリハビリ訓練や堺脳損傷協会での取り組み、高次脳機能障害者支援に関する先駆的な取組紹介などについて、当事者の家族でもある納谷先生独自の視点も交え、幅広いご見識からお話をいただく。 13:00～16:50 グループ演習・事例報告 「高次脳機能障害者に対する地域支援」 コメンテータ：京都市南部障害者地域生活支援センターあいりん 佐藤雅裕氏 済生会京都府病院福祉相談室係長 南本宣子氏 事例報告：京都市身体障害者リハビリテーションセンター相談課職員 (内容) グループ単位で地域支援の実状や連携などの課題に関して討議し、高次脳機能障害者への地域支援に関する社会資源の把握と開発について考える。	京都市 身体障害者 リハビリ テーション センター 1階研修 室	3月2日 (月)	40名
3/23 (月)	18:00 ～ 19:50	テーマ「当事者の気持ちと家族の思い」 ～高次脳機能障害と向き合って感じること～ 講演者：元JRA騎手 常石勝義氏 つくしの会 代表 出口栄二氏 (内容) 元JRA騎手の常石勝義氏は、落馬事故で脳に損傷を受け、懸命のリハビリにより身体機能は移動を含め自立できるところまで回復したが、記憶など遂行機能に障害が残った。現在の活動や障害への理解についてお話しいただく。 「つくしの会」代表の出口栄二氏は、当事者の家族として、また、支援者として事業所の代表を務めておられ、家族の苦労や支援者としての思いをお話しいただく。	京都市 身体障害者 リハビリ テーション センター 1階研修室	3月18日 (水)	70名

別紙 申込書 2 (締切 3 / 2)

(申込先) 京都市身体障害者リハビリテーションセンター相談課

3月8日(日)の午前9時40分からの研修
「高次脳機能障害者への地域支援」申込書

ふりがな			職 種	
申込者氏名				
ふりがな			職 種	
申込者氏名				
ふりがな			職 種	
申込者氏名				
所属している事業所等	名 称			
	所 在 地	〒		
	電話番号	()		
	FAX番号	()		
備 考	☐ 要約筆記 ☐ 手話通訳 (必要な場合は☑してください)			

別紙 申込書 3 (締切 3 / 18)

(申込先) 京都市身体障害者リハビリテーションセンター相談課

**3月23日(月) 午後6時からの研修
「当事者の気持ちと家族の思い」申込書**

ふりがな		職 種							
申込者氏名									
ふりがな		職 種							
申込者氏名									
ふりがな		職 種							
申込者氏名									
ふりがな		職 種							
申込者氏名									
ふりがな		職 種							
申込者氏名									
所属している事業所等	<table border="1"> <tr> <td>名 称</td> <td></td> </tr> <tr> <td>所 在 地</td> <td>〒</td> </tr> <tr> <td>電話番号</td> <td>()</td> </tr> <tr> <td>FAX番号</td> <td>()</td> </tr> </table>	名 称		所 在 地	〒	電話番号	()	FAX番号	()
名 称									
所 在 地	〒								
電話番号	()								
FAX番号	()								
備 考	☐ 要約筆記 ☐ 手話通訳 (必要な場合は☑してください)								

